第193号　2026年（令和８年）10月30日　発行／徳島市議会　編集／市議会だより編集委員会 ☎621-5115
徳島市ホームページのアドレス　https://www.city.tokushima.tokushima.jp

とくしま 市議会だより

〈主な内容〉

○９月定例会の概要……1
○一般質問・質問項目…2・3
○議決結果・決議……3
○委員会のうごき……4



令和８年度徳島市子ども議会（７月27日、７月31日、８月６日）



ＬＥＤ景観整備点灯式（阿波おどり会館前広場）

子ども議会

子どもたちが「子ども議員」として、まちづくりについて考え、実際に議場に立ち、発表をする取り組みで、現在、全国各地の自治体で開催されています。
徳島市では、市内の小学校に通う４年生から６年生を対象に令和５年にスタートし、今年で４回目の開催になります。

９月定例会

公共施設の使用料改定に係る条例議案を否決

９月定例会は、９月３日から９月18日までの16日間の会期で開かれました。

開会日（９月３日）は、市長から、物価高騰の影響を受けている市民や事業者への支援に係る補正予算など、43議案が提出されました。

９月７日から９日までの３日間は、11人の議員から、公共施設の使用料改定や新ホール整備、物価高騰対策などについて一般質問が行われ、11日、14日と15日には各常任委員会を開会し、それぞれ付託された議案などの審査を行いました。

最終日（９月18日）は、各常任委員長から、付託議案の審査結果の報告があり、このうち公共施設の使用料改定に係る条例議案９件については、採決の結果、いずれも賛成少数で否決し、そのほかの議案については、いずれも委員長報告のとおり可決しました。

また、この日追加提出された人権擁護委員候補者の推薦（３件）について、いずれも同意しました。

続いて、同じくこの日追加提出された議員提出議案「遠藤市長に対する問責決議案」について、記名投票（議長を除く）による採決の結果、賛成17票、反対12票で可決しました。

次に、総務委員会に付託され、継続審査となっている令和６年再議第１号「議員提出議案第７号に関する議決の再議について」、採決の結果、賛成多数で閉会中の継続審査とすることに決定しました。

なお、今議会に提出された令和７年度徳島市各企業会計決算の認定議案６件及び令和７年度徳島市一般・各特別会計決算の認定議案８件については、それぞれ設置された決算審査特別委員会に付託の上、閉会中の継続審査とすることに決定し、９月定例会を閉会しました。

9月定例会の質問項目

【代表質問】

●自由民主党徳島市議団　（美馬　秀夫議員）
県市協調新ホール

●公明党徳島市議団　（黒下　広宣議員）
小・中学校におけるわいせつ事案再発防止対策、小・中学校の不登校対策、防災・減災対策、徳島東部都市計画道路の建設

●日本共産党徳島市議団　（船越　智子議員）
災害対策、災害時のライフラインである水の復旧、阿波おどり事業、ガラススタジオ存続

●朋友会　（森本　聖子議員）
遠藤市長の公職選挙法違反、公共施設の利用料金等に関する条例改定案、中学校部活動の地域展開

【一般質問】

●自由民主党市民の会　（小野　功晴議員）
防災、ふるさと納税、保育士確保、農林漁業者等支援

●徳島活性会議　（黒田　達哉議員）
市長の政治手腕及び政治姿勢

【個人質問】

●公明党徳島市議団　（明石　和之議員）
救急医療体制の充実への取組、医療的ケア児支援法の改正を踏まえた取組、投票率向上に向けた取組、ほか１件

●日本共産党徳島市議団　（古田　美知代議員）
建設労働者の処遇改善と住宅リフォーム支援事業、学校における保護者等の負担軽減、補聴器購入補助制度、ほか２件

●新政会　（梯　学議員）
2045年の人口ピラミッドから見える徳島市

●誠和会　（齋藤　智彦議員）
雨水対策、水の官民連携、震災時の対応、ほか１件

●無所属　（長田　善成議員）
ＤＸの推進と透明性の確保、行政手続の透明性と公平性の確保

新ホール整備の在り方



美馬　秀夫　議員
（自由民主党徳島市議団）

【問】新ホールの整備については、市長が新町西地区での建設を白紙撤回して以降も計画が二転三転し、県が県立ホールとして藍場浜公園に整備する方針を決定してからも入札不調によって計画に大幅な遅れが生じている。
**　このような中、旧文化センター跡地を整備場所とする前計画の設計を手がけた建築士の案をテーマにした展覧会が多くの市民の関心を集めており、現在も県と共同企業体との基本協定が解除されていないため、今後、両計画案の比較も必要と考えるが、展覧会に対する市長の受け止めは。**
【答】旧文化センター跡地を整備場所とする前計画をテーマにして開催された展覧会については、多くの市民に県立ホールの整備や本市の中心市街地のまちづくりについて関心を持ってもらう機会となったものと認識している。

不登校の児童・生徒に対する支援



黒下　広宣　議員
（公明党徳島市議団）

【問】不登校対策として、教員全員が関わって個別プログラムを作成・共有し、児童・生徒一人一人に合った支援を継続的に行うことが望ましいと考えるが、市の考えは。
**　また、不登校児童・生徒の居場所として、校内教育支援センターを全ての小・中学校に設置すべきと思うが、市の取り組みは。**
【答】個別プログラムの作成は、児童・生徒が学習意欲や自己肯定感を取り戻す上で重要であり、次期学習指導要領においても、不登校の児童・生徒に対する個別の指導計画の作成が支援策の一つとして位置付けられていることから、先行実施も含め、導入に向けて整備を進めていく。
　校内教育支援センターについては、現在、小学校７校、中学校８校に設置しており、今後、専任支援員の配置拡充や設置マニュアルを作成・配布するなど、全校への設置に向けて取り組みを推進していきたい。

徳島ガラススタジオの評価とガラス文化の継承



船越　智子　議員
（日本共産党徳島市議団）

【問】令和９年度末に閉館の方向性が示されている徳島ガラススタジオについては、ガラス工芸における多様な技術を学べる施設としての存続を求める声が上がっているが、市は施設の文化的価値をどう評価し、閉館の判断に至ったのか。
**　また、これまで培ってきたガラス文化を**
どう継承していこうと考えているのか。
【答】徳島ガラススタジオについては、利用者が培ってきた技術や文化的な蓄積は価値あるものと認識しているが、有識者からの意見や入館者数の減少、収支状況、施設更新に伴う多額の費用の見込みなどを踏まえ、市として責任を持って閉館の方向性を判断したものである。
　ガラス文化の継承については、これまでと同じ形では限界があると認識しており、他の施設での事業の実施可能性を検討するなど、可能な範囲で継承に努めたい。

市長の公職選挙法違反



森本　聖子　議員
（朋友会）

【問】県の選挙管理委員会が公表している市長の政治資金収支報告書において、公職選挙法により寄付行為が禁止されている期間中に、市長が自身の後援会に対して１５０万円の寄付を行っていたことが判明し、その後、収支報告書の日付が訂正されたが、市長はこの寄付行為の違法性についてどう考えているのか。
【答】当該寄付行為は、後援会関係者から選挙後の資金が不足するかもしれないとの話があり、選挙後の支払いに使用することを前提に会計責任者に対して１５０万円を渡していたものである。
　収支報告書に記載している寄付の日付に錯誤があったが、すでに県選挙管理委員会に事情を説明した上で正しい日付に訂正していることから、本件の違法性については司法によって判断されるものと考えている。

農林漁業者等への支援策



小野　功晴　議員
（自由民主党市民の会）

【問】今議会において、物価高騰の影響を受けている農林漁業者等に対する支援事業費が計上されているが、支援の内容は。
**　また、高齢化や担い手不足などにより経営状況が厳しくなる農林水産業に対し、市としてどのような施策を実施していくのか。**
【答】農林漁業者等に対する物価高騰対策支援としては、事業収入50万円以上などの要件を満たす農林漁業者に対し、個人経営体に３万円、法人に10万円を給付するほか、有害鳥獣の各捕獲班へ10万円を給付するものである。
　農林水産業に対する施策としては、徳島市農業振興ビジョンに掲げる四つの基本目標をしっかりと見据え、今後も物価動向を注視するとともに、農林漁業者の声を聞きながら、市の農林水産業振興に必要な施策を実施していきたい。

公共施設の使用料値上げや新ホールについての認識



黒田　達哉　議員
（徳島活性会議）

【問】今回提案されている、とくしま動物園をはじめとした公共施設の使用料改定は、いわゆる値上げであり、明確な理由や根拠が示されておらず、物価上昇が続く中、性急に行うことなく適切なプロセスを踏むべきであると考えるが、市の認識は。
**　また、新ホールについて、建設期間、コスト、スペック、レガシーとしての存在感の面で、旧文化センター跡地で計画されていた石上純也氏の案と、現行の藍場浜公園の案ではどちらが優れていると市長は考えているのか。**
【答】このたびの公共施設の使用料改定は、施設の維持管理の観点から、施設を利用している方と利用していない方の使用料負担の差を見直すものであり、単に収入増を目的とした値上げではない。
　新ホールについて、どちらの案が優れているか、現時点で将来のことは分からない。

医療的ケア児等とその家族に対する支援



明石　和之　議員
（公明党徳島市議団）

【問】医療的ケア児支援法の改正を踏まえて、支援の受け皿拡充と地域格差の解消に取り組むべきと考えるが、市の取り組み状況は。
**　また、医療的ケア児等のケアを担う家族への支援をどのように行っているのか。**
【答】市障害福祉計画において、児童発達支援事業所の施設数など、国の指針に基づく目標は達成していることから、今後、指針が改訂された場合には、常に適正な受け皿確保と、地域格差のない支援体制を構築できるように、適切に対応していきたい。
　医療的ケア児等のケアを担う家族への支援については、事業所や自宅で見守りや介護を行う事業を通じて、心身の負担軽減に努めており、引き続き支援を必要とする方に必要なサービスを迅速かつ円滑に届けられるよう取り組んでいきたい。



古田美知代 議員
（日本共産党徳島市議団）

物価高騰の影響を受けている中小企業への支援

【問】中小企業においては、物価高騰による経費の上昇分を商品価格に転嫁できないことに加え、最低賃金の引き上げに伴い人件費も増加するなど、厳しい経営状況にあることから、国や県に支援の充実を求めるとともに、市独自の支援策を実施してはどうか。

【答】物価高騰や最低賃金の引き上げに伴う中小企業への支援は重要であると認識しており、現在、市において、資金繰りを支える金融機関と連携した貸付金事業や、多様化する経営課題に対応する人材育成などの支援を実施している。

今後も、市の支援事業を着実に推進していくとともに、国や県の施策とも密接に連携しながら、中小企業の経営安定と効率化に向けて支援していきたい。



梯　学 議員
（新政会）

まちのグランドデザイン

【問】市の将来像を示すグランドデザインの策定には、現状の調査や課題の整理が重要と考えるが、現在の取り組み状況は。
また、どのようにグランドデザインを活用し、まちづくりを進めていくのか。

【答】グランドデザインの策定に向け、現行の中心市街地活性化基本計画の進捗状況や事業効果の確認と、人口動態や社会経済情勢の変化などの検証・分析に加え、市民アンケートやワークショップの開催を通して、中心市街地の課題や地域ニーズの収集・分析を進めている。

県都のさらなる魅力向上に向け、中心市街地に機能を集約することが不可欠であることから、グランドデザインに基づき、駅周辺のまちづくりや鉄道高架事業などの諸課題について、長期的視点に立った市の考えを示した上で、県や関係機関などと具体的な協議を進めていきたい。



齋藤　智彦 議員
（誠和会）

水の官民連携における地元企業の参画

【問】水の官民連携については、高度な技術を持つ大手企業のみに業務を委託するのではなく、地域の実情を理解している地元企業も参画し、双方の強みを生かす仕組みを積極的に検討すべきと考えるが、どのように受託者を選定するのか。

【答】水の官民連携を進める上で、地域の実情を理解している地元企業の参画は、事業の持続性確保や緊急対応、地域経済の活性化などの観点で重要と考えている。

受託者の選定については、民間事業者が持つ技術やアイデアを業務に反映させるため、公募型プロポーザル方式で行うこととしており、競争性・公平性の観点から、国・市のガイドラインや市場調査で得られた多様な意見を踏まえた上で、審査項目に「地元企業の活用」を設け、重点を置いた配点構成を検討することで、地元企業の参入を促進していきたい。



長田　善成 議員
（無所属）

DXの推進と実効性・透明性の確保

【問】DXの推進は、システムの導入による成果を検証し、市民にも分かる形で示していくことが重要であるが、市の取り組み状況は。
また、新たなシステムの導入後、どのように業務フローを見直していくのか。

【答】DXの推進に当たっては、生成AIやペーパーレス会議システムの活用、基幹系業務システムの標準化・共通化対応を進めるとともに、進捗状況や成果の評価結果をホームページで公開するなど、実効性と透明性の確保に努めている。

業務フローの見直しについては、行政手続きのさらなるオンライン化や他都市の成功事例を調査・研究することで、従来の紙を中心としたものからデジタルで一貫したものへと見直しを行い、市民の利便性向上や業務の効率化、職員の業務負担軽減につながるよう、取り組みを進めていきたい。

令和８年第３回（９月）定例会
議決結果（賛否が分かれたもの）

○…賛成した議員　×…反対した議員　／…議長のため議決権なし

全ての議決結果についてはこちら

提出議案の概要についてはこちら

議案等		公明党徳島市議団					日本共産党徳島市議団				朋友会			自由民主党徳島市議団			誠和会		徳島活性会議		新未来とくしま		自由民主党市民の会		新政会		無所属の会		無所属			議決結果
		土井 昭一	藤田真由美	黒下 広宣	明石 和之	岸本 和代	船越 智子	古田美知代	平岡 保人	加戸真実子	森本 聖子	加村 祐志	春田 洋	須見 矩明	美馬 秀夫	岡 孝治	井上 武	齋藤 智彦	黒田 達哉	佐々木昌也	増田 秀司	多田 秀	小野 功晴	石部祐一郎	梯 学	本田 泰広	渡邊亜由美	山本 武生	大西 実希	長田 善成	武知 浩之	
87	「とくしま動物園条例の一部を改正する条例を定めるについて」	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	否決
81, 82, 85, 86 91～94	「徳島市文化振興施設設置条例の一部を改正する条例を定めるについて」ほか７件（※）	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	否決
議員提出 7	遠藤市長に対する問責決議案の提出について	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	可決
令和６年再議第１号「議員提出議案第７号に関する議決の再議について」の閉会中継続審査		○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	可決

（※）対象となる18施設：シビックセンター、市勤労者福祉施設、市立体育館、市民運動広場、Ｂ＆Ｇ海洋センター、市ライフル射撃場、市陸上競技場、市立スポーツセンター、市立体操センター、市民庭球場、市球技場、市民夜間運動場、田宮公園プール、農村環境改善センター、考古資料館、ふれあい健康館、徳島城博物館、青少年交流プラザ

9月定例会で可決した決議

遠藤市長に対する問責決議

去る8月6日、遠藤市長に公職選挙法違反の事実があったことが明らかとなった。

徳島新聞によると、遠藤市長は２０２４年の市長選挙において、同年３月11日、後援会の会計担当者である弟に１５０万円を預け、後援会の収支報告書にも、同日付で寄附を受けた旨が記載されているが、公職選挙法は、現職者の任期満了の90日前から選挙当日までの間、候補者が自身の後援会に寄附をすることを禁じており、今年７月末になって外部から指摘を受け、寄附日を選挙後の４月10日に訂正したというのが事のてんまつである。

遠藤市長はこの件が報道されて以来、翌日の記者会見や今定例会での一般質問、さらに先日の総務委員会でも認識を問われ、そのたびに「違反とは知らなかった」「日付を訂正したので問題ないと思っていた」と、つじつま合わせ、言い訳同然の釈明をただ繰り返すだけで、自ら身を処すなどの誠意も全く見られない。

日付を訂正しているということは、少なくともその時点では既に、法令違反の認識があったことになる。にもかかわらず、この件について、自発的な公表や説明はこれまで一度としてなく、記者会見で説明したのも新聞報道がされたからにすぎない。それがなければ、全て闇に葬られていたことになる。

本来、市政の最高責任者として率先垂範すべき立場にありながら、長たるべき適性を欠くと言わざるを得ない。

また、遠藤市長は今議会の一般質問で、森本議員からこの件について見解を問われた際、告発されていることを理由に答弁しなかった。しかし、黒田議員から告発の事実の根拠をただされると、「記者から、告発されていることについての感想を聞かれたので、告発されていると思っていた」と答え、あろうことか、さきの答弁は不確かな情報によるものであったことが判明した。本会議の場において、このようなその場しのぎの答弁逃れは到底許されないことである。

加えて、今定例会には、市有施設の使用料改定に係る条例議案が提案された。物価高騰が収まらない昨今、一挙に19もの施設の使用料を値上げすること自体、到底市民の理解を得られないが、より問題なのは、そのプロセスである。

議会に対し、事前に何らの説明もなかったばかりか、その提案理由は「社会経済情勢の変化に適切に対応するとともに、市民負担の公平性・公正性を確保する」という文言を繰り返すのみ。さらに明確な積算根拠も示されず、一般質問で指摘を受けて初めて、委員会での説明資料を準備するありさまで、提案前から議決に至るまで不誠実極まりない対応に終始した。挙げ句、使用料改定に係る九つの条例議案が、付託された委員会で全て否決されるという、異例の事態を招いている。

さらに、一般会計補正予算には、とくしま動物園の入園料等の値上げに伴って必要となる関連費用が含まれており、これらは条例議案が否決されれば執行の根拠を失うことになる。条例の成立を前提とした補正予算を提出するのであれば、なおさら丁寧な説明が必要であったはずである。

遠藤市長に対する問責決議の提案は、今期に限っても２度目となる。ここで改めて市長としての政治的・道義的責任を問うとともに、今後もなお議会軽視の対応が続くならば、不信任決議などより厳しい対応も辞さないことを強く警告するものである。

否決された使用料改定案の主な概要

施設の名称	現行	改定案
とくしま動物園（大人入園料）	600円	900円
シビックセンター活動室（１時間）	1,440円	1,580円
市勤労者福祉施設体育室（非営利：午前８時30分から午後５時）	4,400円	4,840円
市立体育館第一競技場（アマチュア：午前９時から午後５時）	15,700円	17,270円
市民島田運動広場（一般：夜間１時間）	1,100円	1,200円
Ｂ＆Ｇ海洋センタープール（幼児：個人）	50円	100円
市エア・ライフル射撃場（一般：１時間）	300円	400円
市陸上競技場（一般：個人１回当り）	100円	200円
市立スポーツセンター競技場（アマチュア：午前９時から午後５時）	6,170円	6,800円
市立体操センター（アマチュア：午前９時から午後５時）	6,170円	6,800円
市民庭球場（一般：１時間）	310円	470円
市球技場第一競技場（アマチュア：午前９時から午後５時）	33,000円	36,300円
市民夜間運動場（１時間）	1,100円	1,200円
田宮公園プール（一般：個人）	340円	400円
農村環境改善センター多目的ホール（午前９時から午後５時）	6,170円	6,790円
考古資料館研修室（１時間）	300円	400円
ふれあい健康館健康判定・屋内運動室（１回）	510円	610円
徳島城博物館（一般観覧料）	300円	400円
青少年交流プラザ宿泊施設（一般：１泊）	880円	1,000円



特別展「犬飼農村舞台と阿波人形浄瑠璃」（阿波十郎兵衛屋敷）

総務委員会

▼9月11日・15日

付託された10議案のうち、議案第81号「徳島市文化振興施設設置条例の一部を改正する条例を定めるについて」ほか2議案については、一部委員から人件費や維持管理費の高騰に伴う、使用料改定の必要性に一定の理解が示された一方で、これまで明確な積算根拠が示されていないなど、十分な合意形成が図られていないとする反対意見があり、採決の結果、いずれも賛成少数で原案を否決すべきものと決定した。

また、議案第90号「徳島市公民館条例及び徳島市地区コミュニティセンター条例の一部を改正する条例を定めるについて」中、当委員会関係部分については、賛成多数で原案を可決すべきものと決定し、そのほかの6議案については、いずれも全会一致で原案を可決すべきものと決定した。

文教厚生委員会

▼9月14日

付託された11議案のうち、議案第82号「徳島市生涯福祉センター条例の一部を改正する条例を定めるについて」ほか3議案については、一部委員から施設の老朽化に伴い維持管理費用が増加していることから、使用料改定の必要性に一定の理解が示された一方で、物価高騰により市民の生活が苦しい現下の状況で使用料の改定を行うべきではないことに加え、明確な積算根拠が示されておらず、説明も不十分であるとの反対意見があり、採決の結果、いずれも賛成少数で原案を否決すべきものと決定し、そのほかの7議案については、いずれも全会一致で原案を可決すべきものと決定した。

産業交通委員会

▼9月11日・15日

付託された5議案のうち、議案第86号「徳島市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例を定めるについて」は、採決の結果、可否同数となったため、委員長の裁決権を行使し、原案を否決すべきものと決定した。

また、議案第87号「とくしま動物園条例の一部を改正する条例を定めるについて」は、賛成少数で原案を否決すべきものと決定し、そのほかの3議案については、いずれも全会一致で原案を可決すべきものと決定した。

審査の過程において、議案第86号及び議案第87号については、施設の使用料や入園料等の改定に係るものであるが、改定を検討する際の基本的な考え方や算定方法を示す「受益者負担の適正化に関する指針」について、議会への報告や議論がなされないまま、あくまで理事者側の内部資料として処理され、今回の条例議案の提出となった結果、審査を重ねたが、理事者側からの使用料改定案に対する説明が不十分な状態での採決とならざるを得なくなり、各委員より、公共施設の持続可能な運営の観点から、改定は必要であると一定の理解が示された一方で、改定に当たっては、十分に説明を受けた上で改めて議論すべきとの意見があった。

建設委員会

▼9月1日

「水の官民連携（ウォーターPPP）の導入について」、報告を受けた。

また、議案第73号「令和8年度徳島市一般会計補正予算（第2号）」中、動物園管理費部分については、理事者より、関連条例議案が本会議で否決された場合、当該予算を執行しない旨の答弁があった。

決算審査特別委員会

▼9月14日

付託された議案第73号「令和8年度徳島市一般会計補正予算（第2号）」中、当委員会関係部分をはじめとする7議案については、いずれも全会一致で原案を可決すべきものと決定した。

令和7年度徳島市各企業会計決算及び令和7年度徳島市一般会計・各特別会計決算の認定議案については、また決算審査特別委員会に付託され、閉会中に継続して審査することになりました。

企業会計

委員長　黒田　達哉
副委員長　美馬　秀夫
委員　黒下　広宣
〃　平岡　保人
〃　春田　洋
〃　井上　武
〃　増田　秀司
〃　渡邊亜由美

なお、企業会計とは、
・中央卸売市場事業会計
・商業観光施設事業会計（ロープウエー・駐車場）
・水道事業会計
・公共下水道事業会計
・旅客自動車運送事業会計
・市民病院事業会計
の6会計です。

一般会計・各特別会計

委員長　加村　祐志
副委員長　井上　武
委員　土井　昭一
〃　岸本　和代
〃　船越　智子
〃　小野　功晴
〃　梯　学
〃　長田　善成

なお、一般会計以外の特別会計とは、
・国民健康保険事業特別会計
・食肉センター事業特別会計
・奨学事業特別会計
・土地取得事業特別会計
・介護保険事業特別会計
・後期高齢者医療事業特別会計
・職員給与等支払特別会計
の7会計です。

同意した人事案件

▼人権擁護委員候補者
武市　到
山田　誠次
吉成　正士

熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます

このたびの熊本地震により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられた皆様方に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と、皆様方の御快復をお祈り申し上げます。

なお、徳島市議会では、九州市議会議長会に、30万円（議員30人各1万円）の義援金を送付しました。

議会日誌（令和8年4月～令和8年9月）

4月	3日	徳島県太極拳協会　武極 Tokushima が表敬訪問
	10日	市議会だより編集委員会
	14日	県内議会3団体連携協定　連絡調整会議
	15日	徳島県市議会議長会　定期総会（三好市）
5月	11日	四国市議会議長会　支部長会、定期総会(高松市)
	14日	全国自治体病院経営都市議会協議会　理事会、定期総会（東京都）
	19日	議会運営委員会
	26日	全国市議会議長会　部会長会議、理事会(東京都)
	27日	全国市議会議長会　定期総会（東京都）
	28日	市議会議員共済会　理事会（東京都）
6月	4日	文教厚生委員会
	12日	令和8年第2回定例会（6月議会）：会期12日～29日
		会長幹事長会
	30日	日本オブスタクルスポーツ協会四国ブロックが表敬訪問
7月	7日	総務委員会（管内視察：ひょうたん島周遊船 HARMO 艇）
	13日	文教厚生委員会(管内視察：ペットボトル中間処理施設)
		市議会だより編集委員会
	14日	建設委員会（管内視察：宮島江湖川橋（川内)）
	17日	子育て・健康長寿特別委員会(管内視察：城南こども園)
		ヤング徳島ホークス（中学生硬式野球チーム）が表敬訪問
	21日	まちづくり対策特別委員会(管内視察：新町橋河畔桟橋)
	22日	防災対策特別委員会（管内視察：高機能消防指令センター）
		徳島県卓球協会（リンクスジュニア卓球クラブ）が表敬訪問
7月	22日	佐古愛日クラブ野球部が表敬訪問
	24日	産業交通委員会（管内視察：中央卸売市場）
	27日	徳島市子ども議会（第1日）
		八万ファイターズ（小学生軟式野球チーム）が表敬訪問
	28日	徳島ハンドボールクラブジュニアが表敬訪問
		昭和 JVC（小学生バレーボールチーム）が表敬訪問
	31日	徳島市子ども議会（第2日）
		南井上少年野球部が表敬訪問
8月	5日	空手道　明日空　田宮道場が表敬訪問
		観光姉妹都市仙台市を親善訪問（5日～6日）
	6日	徳島市子ども議会（第3日）
		FC 佐古（小学生サッカーチーム）が表敬訪問
	10日	八万中学校男子バスケットボール部が表敬訪問
	11日	観光姉妹都市仙台市親善訪問団が表敬訪問(11日～13日)
	18日	Athlete Club KAZE（陸上クラブ）が表敬訪問
	20日	第35回日整全国少年柔道大会　徳島県代表が表敬訪問
	24日	議会運営委員会
9月	1日	建設委員会
	3日	令和8年第3回定例会（9月議会）：会期3日～18日
		会長幹事長会
	24日	城東小学校金管バンド部が表敬訪問
		城東中学校吹奏楽部が表敬訪問
	30日	八万南小学校ウインドアンサンブルが表敬訪問